



↑各課から集まった17人の職員で構成される「DX推進ワーキングチーム」を6月26日に発足。

**質** の高い町民サービスの持続的な提供のため、全庁的に行政DX推進体制を構築し、町民の皆さまの利便性向上と行政運営の効率化に尽力します。また、教育力と生きる力の向上のため、グローバル教育関係機関とも連携して推進予定。DX推進事業は、国の事業に採択された「AIデマンド運行乗合バス公共交通導入事業」、「公共施設予約システム導入による町民利便性向上」、「デジタルを活用したグローバルリーダー育成事業」を軸に政策を展開していきます。

# 施政方針

- 14 教育方針**(教育委員会)
- ▼学校教育と生涯学習を充実し「教育によるまちづくり」を推進
  - ▼新型コロナウイルス対策としての制限を撤廃して各種事業を活性化
  - ▼いじめ・不登校問題の対策を推進
  - ▼ICT教育の推進
  - ▼9年間を通して教育する「小・中連携教育」の推進
  - ▼学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を活用した地域ぐるみで児童生徒を育てる体制づくりの推進
  - ▼スポーツ振興・地域活性化等の役割を担う事業の推進
  - ▼協定を締結するプロスポーツチームと連携したスポーツ振興
  - ▼グローバルな人材育成の推進

- 15 その他**
- ▼クラブハウスを備えた多機能型のスポーツ施設整備
  - ▼上野焼「釜ノ口窯跡」に関する資料収集・精査の実施
  - ▼金田人見地区(約5.5ha)と上野諏訪山地区(約4ha)の国土調査を実施
  - ▼マイナンバーカード普及とサービス拡大に向けた取り組みを強化
  - ▼町税、保育料、住宅使用料、住宅新築資金等の滞納者に対する法的措置と県との連携強化
  - ▼高齢者対象の「運転免許証自主返納支援事業」と「安全運転支援装置設置促進事業」の実施



↑令和3年12月に「町社会教育施設等統廃合検討委員会」から意見書を受け取った黒土町長。

**10 人権尊重**

- ▼啓発活動や研修による人権を尊重するまちづくりの推進
- ▼「人権・同和問題に関する職員意識調査」の結果を基に、職員の意識と資質の向上を目指す職員研修を実施
- ▼「ふれあい交流」など地域に根ざした自主活動支援と協働によるまちづくりの推進

**11 建設事業**

- ▼国や県からの交付金を有効活用した道路・橋梁等の点検・調査・修繕補修等、適正な維持管理
- ▼道路改良事業の継続と状況に応じた安心安全な生活環境整備

- ▼農業用施設と林道の計画的な整備・維持管理の実施

**12 町営住宅**

- ▼福智町営住宅長寿命化計画に沿った町営住宅の建替え・改善事業、維持補修を推進
- ▼「湧淵団地住戸改善工事」、「平原団地住戸改善工事」の実施
- ▼町営住宅維持管理の効率化に向けた管理制度の見直し

**13 診療所**

- ▼赤字が続く診療所の経営改善
- ▼町に根付いた地域医療の推進
- ▼感染症対策の徹底と発熱外来の柔軟な対応の継続

**急** 激な人口減少などによる公共施設に求められる機能の変化及び施設の老朽化による公共施設の維持管理・更新費の負担が、それぞれ生じると考えられます。これらへの対応と行財政の持続性確保を図る観点から「町社会教育施設等統廃合検討委員会」の意見書と「町公共施設等総合管理計画」を踏まえ、公共施設の機能と量の最適化に取り組みます。

新着情報

町政支える副町長に竹下靖氏を選任

**福** 智町議会6月定例会で、竹下靖氏(伊方)の副町長選任について同意され、6月21日付けで就任しました。竹下副町長は、田川農林高校を卒業後、民間企業(建設コンサルタント)を経て、旧方城町役場に入庁。合併後は住宅課長を務めたのち、建設課長として町の基盤整備を支えてきました。「現在、町が抱えている課題というのは非常に多様で、待ったなしにやらなければならない課題もたくさんありますが、29年の行政経験を生かし、議会・関係機関とも円滑な関係を築きながら町長をサポートし、生まれ育った町のために全力を尽くします」と力強く決意を語りました。

